

特別演題プログラム

■ 特別演題プログラム

浅井国幹顕彰記念講演

6月4日（金）16:10～17:10 第1会場

「浅井国幹の遺志を現代に活かす」

講師：伊藤 嘉紀（浅井国幹顕彰会会長）

座長：安井 廣迪（安井医院院長）

会頭講演

6月5日（土）11:00～12:00 第1会場

「21世紀の漢方医学：生活習慣病予防治療の新しい可能性を求めて」

講師：佐藤 祐造（愛知学院大学心身科学部長）

座長：大塚 吉則（北海道大学大学院教育学研究院）

会長講演

6月5日（土）15:00～16:00 第1会場

「和田啓十郎著『医界之鉄椎』と漢方の課題」

講師：寺澤 捷年（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座）

座長：佐藤 祐造（愛知学院大学心身科学部長）

特別講演1

6月5日（土）10:00～11:00 第1会場

「21世紀の東洋医学」

講師：高久 史磨（自治医科大学学長）

座長：松田 邦夫（松田医院院長）

特別講演2

6月5日（土）13:30～14:30 第1会場

「最先端医療と融合した新しい日本型医療の提言」

講師：北島 政樹（国際医療福祉大学学長）

座長：石野 尚吾（昭和大学医学部第一生理学）

招待講演

6月5日（土）14:30～15:00 第1会場

「漢方保険適用継続のための電子署名活動 –その概要と今後の課題–」

講師：湯地晃一郎（東京大学医科学研究所附属病院）

座長：寺澤 捷年（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座）

教育講演1

6月4日（金）17:10～18:10 第1会場

「生物多様性条約の背景とその施行下での薬用植物資源等国際探査の論点」

講師：小山 鐵夫（高知県立牧野植物園園長）

座長：水上 元（名古屋市立大学大学院薬学研究科）

教育講演2

6月5日（土）9:00～10:00 第1会場

「急性期における漢方治療」

講師：三瀨 忠道（飯塚病院東洋医学センター所長）

座長：嶋田 豊（富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座）

教育講演3

6月5日(土) 16:00~17:00 第1会場

「改めて漢方に求められるものを考える …思い出に残る症例から…」

講師：中川 良隆 (中川内科医院院長)

座長：二宮 文乃 (アオキクリニック)

教育講演4

6月6日(日) 9:00~10:00 第1会場

「浅田流漢方の頻用処方とその応用：三朮附湯について」

講師：中田 敬吾 (聖光園細野診療所院長)

座長：広瀬 滋之 (広瀬クリニック院長)

教育講演5

6月6日(日) 10:00~11:00 第1会場

「六経弁証と臓腑弁証、傷寒と温病」

講師：菅沼 栄 (日本医科大学東洋医学科)

座長：田澤 寛子 (田沢医院院長)

教育講演6

6月6日(日) 11:00~12:00 第1会場

「国際医療情報時代の漢方医学」

講師：渡辺 賢治 (慶應義塾大学医学部漢方医学センター長)

座長：秋葉 哲生 (あきば伝統医学クリニック院長)

教育講演7

6月6日(日) 13:30~14:30 第1会場

「消化器と漢方」

講師：佐藤 弘 (東京女子医科大学東洋医学研究所所長)

座長：稲木 一元 (青山稲木クリニック院長)

教育講演8

6月6日(日) 14:30~15:30 第1会場

「女性の漢方治療 –不定愁訴を中心として–」

講師：福澤 素子 (表参道福澤クリニック)

座長：丁 宗鐵 (日本薬科大学総合医療学)

教育講演9

6月6日(日) 15:30~16:30 第1会場

「鍼灸刺激の受容器 (経穴) の有力候補ポリモーダル受容器について」

講師：水村 和枝 (名古屋大学環境医学研究所神経系分野Ⅱ)

座長：伊藤 嘉紀 (末盛クリニック院長)

■ 特別演題プログラム

特別シンポジウム 1

6月5日（土）13:30～15:30 第2会場

「漢方渾身の一例」

座長：花輪 壽彦（北里研究所東洋医学総合研究所）

山口 英明（公立陶生病院小児科）

SP 1-1 備急千金要方・麻黄湯について

福田 佳弘（福田整形外科医院）

SP 1-2 大承気湯合大柴胡湯による長期治療で妊娠および出産に至った 二次性無月経の一例

頼 建守（新宿海上ビル診療所つるかめ漢方センター）

SP 1-3 大定風珠で本態性振戦の改善を認めた一例

板倉 英俊（東邦大学医療センター大森病院東洋医学科）

SP 1-4 小児片頭痛に対する漢方治療の有用性

來村 昌紀（あきば伝統医学クリニック）

SP 1-5 成人型STILL病の再燃を起こした授乳婦に対し温病方剤が奏功した1例

高橋 秀実（日本医科大学付属病院東洋医学科）

SP 1-6 下痢、腹痛、尿閉、起立性低血圧などの多彩な自律神経症状に桂枝加芍薬 湯が奏効した一例

引網 宏彰（富山大学附属病院和漢診療科）

SP 1-7 大腸癌多発肝転移の肝切除術後の肝不全に茵蔯蒿湯合五苓散が著効した1例

井上 美貴（東京日立病院）

SP 1-8 難治性の口内炎に清熱補血湯が著効した症例

矢数 芳英（東京医科大学病院麻酔科）

SP 1-9 関節リウマチでの漢方薬の著効例 一抗CCP抗体価の推移一

小暮 敏明（群馬大学医学部統合和漢診療学）

「現代の口訣（使用目標）」

座長：新井 信（東海大学医学部東洋医学講座）

金倉 洋一（かなくらレディスクリニック）

SP2-1 「患者自身による自覚症状の評価システム(TOMRASS)」を活用した現代の口訣について

木村 容子（東京女子医科大学東洋医学研究所）

SP2-2 現代医学的評価指標からみた「口訣」の妥当性 ～半夏厚朴湯を中心に～

及川 哲郎（北里大学東洋医学総合研究所）

SP2-3 乳癌ホルモン療法によるホットフラッシュには、柴胡剤と駆瘀血剤の併用が著効する

星野恵津夫（癌研有明病院総合内科・消化器内科）

SP2-4 脳脊髄液減少症に五苓散などの利水剤

佐藤 泰昌（岐阜県総合医療センター産婦人科）

SP2-5 西洋医学的治療が無効であった脊柱後弯変形を伴う腰背部痛に対して当帰四逆湯が有効であった3症例

八代 忍（北里大学大学院医療系研究科）

SP2-6 慢性皮膚疾患について

二宮 文乃（アオキクリニック）

SP2-7 くしゃみ3回、香蘇散

溝部 宏毅（みぞべ内科循環器医院）

SP2-8 「羽毛腹」～甘麦大棗湯の新しい使用目標～

南澤 潔（亀田メディカルセンター）

SP2-9 茯苓甘草湯の3症例

高木恒太郎（羽生総合病院和漢診療センター）

SP2-10 飯塚病院に伝わる口訣

木村 豪雄（飯塚病院東洋医学センター漢方診療科）

■ 特別演題プログラム

国際シンポジウム

6月5日(土) 15:30~17:30 第2会場

International Symposium on Variation of Traditional Medicine in Neighboring Countries to China: Diversity and Standardization

中国近隣諸国の伝統医学のバリエーション：多様性と標準化

Chairperson : Longxiang HUANG (China Academy of Chinese Medical Sciences; China)

Kiichiro TSUTANI (The University of Tokyo; Japan)

Opening remarks

Longxiang HUANG (China Academy of Chinese Medical Sciences; China)

Speech 1 : Introduction to Traditional Korean Medicine

韓医学への招待

Seung-hoon CHOI (Kyung Hee University; Korea)

Speech 2 : Current Situation and View for Standardization of Traditional Vietnamese Medicine

ベトナム伝統医学の現状と標準化

Tran Quoc Binh (National Hospital of Traditional Medicine; Vietnam)

Speech 3 : Current Situation and Future Trends of Traditional Medicine in Mongolia

モンゴル伝統医学の現状と将来

Molor ERDENE (Health Sciences University of Mongolia; Mongolia)

Speech 4 : Current Situation of Traditional Japanese Medicine (TJM) and View for Global Standardization of Traditional East Asian Medicine (TEAM)

日本の伝統医学の現状と東亜細亜伝統医学の国際標準化

Takashi SEKI (Tohoku University; Japan)

Speech 5 : Variations on Traditional Chinese Acupuncture in Japan and Korea

日韓の鍼灸の多様性

Longxiang HUANG (China Academy of Chinese Medical Sciences; China)

Panel discussion

All speakers and chairpersons

Closing remarks

Kiichiro TSUTANI (The University of Tokyo; Japan)

日韓国際シンポジウム

6月6日(日) 13:30~15:30 第4会場

「伝統医学における日韓交流の歴史」

「日韓伝統医学の学術交流シンポジウム開催にあたって」

講師：寺澤 捷年（日本東洋医学会会長）

座長：石野 尚吾（前日本東洋医学会会長）

「日本が受容した韓医学と古医籍の交流史」

講師：真柳 誠（茨城大学大学院人文科学研究科教授）

座長：寺澤 捷年（日本東洋医学会会長）

「韓国と日本の歴史上の医学交流 -新しい時代の使命のために-」

講師：金^{きむ}性^{せん}洙^す（大韓韓医学会会長）座長：金^{きむ}璋^{じゃん}顯^{ひょん}（前大韓韓医学会会長）

シンポジウム1

6月5日(土) 9:30~11:00 第2会場

「アトピー性皮膚炎の漢方治療」

座長：広瀬 滋之（広瀬クリニック）

崎山 武志（聖マリアンナ医科大学総合診療内科）

S-1-1 アトピー性皮膚炎混乱の歴史

夏秋 優（兵庫医科大学皮膚科）

S-1-2 アトピー性皮膚炎は漢方だけで治るのか？

鶴田 光敏（つるた小児科）

S-1-3 アトピー性皮膚炎 漢方治療の要点

小林 裕美（大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学）

S-1-4 アトピー性皮膚炎の総合診療

広瀬 滋之（広瀬クリニック）

シンポジウム2

6月5日(土) 9:30~11:00 第4会場

「漢方薬物の伝承薬能をさぐる ~モレキュラーアプローチ~」

座長：井上 誠（愛知学院大学薬学部）

能勢 充彦（名城大学薬学部）

S-2-1 漢方薬の利尿作用とアクアポリン水チャネルの機能調節

磯濱洋一郎（熊本大学大学院医学薬学研究部薬物活性学分野）

S-2-2 腎虚の科学化と補腎漢方薬の薬理作用

~老化における腎の意味するところ~

溝口 和臣（国立長寿医療センター研究所老年病研究部東洋医学研究室）

S-2-3 麻黄剤の辛温解表作用とその機序の解析

永井 隆之（北里大学北里生命科学研究所和漢薬物学研究室）

S-2-4 加工ブシ末の「温裏祛寒作用」

牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野）

■ 特別演題プログラム

シンポジウム3

6月5日(土) 9:30~11:00 第5会場

「《傷寒論》 ー厥陰病の病態解析ー」

座長：金子 幸夫（金子医院）
三谷 和男（三谷ファミリークリニック）

- S-3-1 傷寒論の解説書に学ぶ厥陰病の考え方
大熊 康裕（栗林病院健康管理センター）
- S-3-2 厥陰病の主たる病証は上熱下寒証である
金子 幸夫（金子医院）
- S-3-3 現代の中国における厥陰病の研究と私案
胡 曉晨（名古屋大学医学部附属病院総合診療科）
- S-3-4 中医学から見た厥陰病・温病から厥陰病の治療を補足
菅沼 栄（日本医科大学東洋医学科）
- S-3-5 千葉古方の解釈
中村 謙介（海浜整形外科）
- S-3-6 「心中疼熱」を考える
三谷 和男（三谷ファミリークリニック）

シンポジウム4

6月5日(土) 13:30~15:00 第4会場

「女性のQOL改善と漢方 ー月経前症候群（PMS）と月経困難症ー」

座長：後山 尚久（大阪医科大学健康科学クリニック）
佐藤 泰昌（岐阜県総合医療センター産婦人科）

- S-4-1 月経前緊張症と月経困難症に対する漢方治療の考え方
木下 優子（日本大学医学部附属板橋病院緩和ケア室）
- S-4-2 働く女性のPMSと月経困難症
峯 尚志（峯クリニック）
- S-4-3 月経症状を重視した精神疾患への漢方治療
向井 誠（ムカイ・クリニック）
- S-4-4 月経に関連した痛みの漢方治療
古賀 実芳（東京慈恵会医科大学総合診療部漢方外来）
- S-4-5 ストレス社会における月経前症候群と月経困難症に対する漢方治療
梅川 宏司（梅川クリニック）

シンポジウム5

6月5日(土) 13:30~15:00 第5会場

「機能性消化管障害 (FGID) の漢方治療」

座長：中野 哲 (大垣女子短期大学)
西本 隆 (西本クリニック)

- S-5-1 機能性消化管障害の漢方治療 ―消化器医の立場から―
小笠原 誠 (小笠原クリニック)
- S-5-2 機能性消化管障害の漢方治療における気剤の役割
竹内 正 (竹内医院)
- S-5-3 機能性ディスぺプシア (FD) に対する漢方治療の工夫
久保田達也 (久保田内科胃腸科医院)
- S-5-4 過敏性腸症候群 (IBS) に対する漢方治療戦略
西本 隆 (西本クリニック)
- S-5-5 過敏性腸症候群に対する駆瘀血剤の応用
中村東一郎 (中村医院)

シンポジウム6

6月5日(土) 15:00~16:30 第4会場

「慢性・難治性皮膚疾患に対する漢方医学的アプローチ (アトピー性皮膚炎以外)
―なぜ難治なのか、その背景を探る―」座長：石井 正光 (大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学)
前田 學 (岐阜県総合医療センター)

- S-6-1 食を踏まえた漢方療法
石井 正光 (大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学)
- S-6-2 難治性皮膚疾患に対する漢方療法、その背景を探る
前田 學 (岐阜県総合医療センター皮膚科)
- S-6-3 酒皰に対する漢方治療
桜井みち代 (桜井医院)
- S-6-4 慢性蕁麻疹の漢方療法
橋本 喜夫 (旭川厚生病院皮膚科)
- S-6-5 凍瘡の漢方エキス剤治療について
三田 哲郎 (三田皮膚科クリニック)
- S-6-6 褥瘡に対する十全大補湯の効果
黒川 晃夫 (大阪医科大学皮膚科)

■ 特別演題プログラム

シンポジウム7

6月5日(土) 15:00~16:30 第5会場

「補剤の臨床 – ストレス社会と虚証化する日本人への処方箋 –」

座長：柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学）
玉嶋 貞宏（聖隷浜松病院血液内科）

S-7-1 虚証の病理と多様な病態への対応策

丹羽 幸吉（明陽クリニック）

S-7-2 虚弱児の病態と補剤の選択

岩間 正文（三菱名古屋病院小児科）

S-7-3 心身症における補剤の役割

西田 慎二（大阪大学大学院医学系研究科漢方医学寄附講座）

S-7-4 がん化学療法における補剤の活かし方

玉嶋 貞宏（聖隷浜松病院血液内科）

シンポジウム8

6月6日(日) 9:00~10:30 第3会場

「呼吸器領域における私のevidenceと興味ある処方について」

座長：伊藤 隆（鹿島労災病院メンタルヘルス・和漢診療センター）
佐々木智康（総合上飯田第一病院呼吸器科）

S-8-1 慢性喘息に対する八味地黄丸の喘息に対する効果

伊藤 隆（鹿島労災病院メンタルヘルス・和漢診療センター）

S-8-2 誤嚥性肺炎に対する半夏厚朴湯の効果

岩崎 鋼（東北大学附属病院漢方内科）

S-8-3 薬剤性肺炎の診断における問題点と早期診断法

中島 正光（広島国際大学保健医療学部）

S-8-4 COPDにおける補中益気湯の有用性

巽 浩一郎（千葉大学医学部呼吸器内科）

S-8-5 著明な予後改善をみた特発性間質性肺炎（IIP）の漢方治療

本間 行彦（北海道漢方医学センター附属北大前クリニック）

シンポジウム9

6月6日(日) 9:00~10:30 第4会場

「医科歯科連携による東洋医学診療の現状と未来」

座長：王 宝禮（大阪歯科大学歯科医学教育研究室）
福田 光男（愛知学院大学歯学部附属病院歯周健康推進科）

S-9-1 舌の変化を読み取る

横井 基夫（名古屋市立大学大学院医学研究科口腔外科分野）

S-9-2 口腔領域における漢方の適応を考える

王 宝禮（大阪歯科大学歯科医学教育研究室）

S-9-3 歯科開業医による漢方治療の現状と問題点

藺田 順（藺田歯科醫院）

S-9-4 学生の意識調査から歯学部の東洋医学教育の現状を考える

栗田 隆（慶生会クリニック大阪）

シンポジウム10

6月6日(日) 10:30~12:00 第3会場

「専門医が語る耳鼻咽喉科漢方治療の魅力」

座長：金子 達（金子耳鼻咽喉科クリニック）
山際 幹和（介護老人保健施設みずほの里）

S-10-1 小児反復性中耳炎に対する十全大補湯の効果

—感染症における宿主サポートの試み—

丸山裕美子（黒部市民病院耳鼻咽喉科）

追加発言 鎌田慶市郎（鎌田耳鼻咽喉科医院）

S-10-2 神経性嗅覚障害

三輪 高喜（金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

S-10-3 老人性嚔声

望月 隆一（大阪回生病院耳鼻咽喉科・大阪ボイスセンター）

■ 特別演題プログラム

シンポジウム11

6月6日(日) 10:30~12:00 第4会場

「慢性腎臓病CKDと関連病態の漢方治療」

座長：頼岡 徳在（広島大学大学院医歯薬学総合研究科腎臓病制御学講座）

小野 孝彦（市立島田市民病院漢方内科・腎臓内科）

S-11-1 糖尿病性腎症モデルに対すると八味地黄丸の効果

横澤 隆子（富山大学和漢医薬学総合研究所）

S-11-2 CKD患者における漢方薬追加治療の有用性

村田一知朗（岐阜大学第二内科）

S-11-3 高血圧を伴ったCKDに対する漢方治療の基礎と臨床

小野 孝彦（市立島田市民病院漢方内科・腎臓内科）

S-11-4 透析患者の漢方療法

室賀 一宏（黒河内病院内科）

S-11-5 CKDと血管内皮障害の関連と漢方治療の介入

後藤 博三（富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座）

シンポジウム12

6月6日(日) 13:30~15:00 第2会場

「鍼灸の自律神経に対する効果」

座長：伊藤 嘉紀（末盛クリニック）

松森 裕司（ライフ治療院）

S-12-1 散ずる鍼を尋ねて

南谷 旺伯（みなたに鍼療所）

S-12-2 灸の自律神経に対する効果

野口栄太郎（筑波技術大学保健科学部保健学科）

S-12-3 鍼が自律神経に及ぼす影響について

西条 一止（筑波技術短期大学名誉教授）

S-12-4 体性自律神経反射

黒澤美枝子（国際医療福祉大学基礎医学研究センター）

シンポジウム13

6月6日(日) 13:30~15:00 第3会場

**「漢方医学教育のミニマム・スタンダードについて考える
—患者のニーズに即した全人的医療を行うために—**

座長：北村 聖（東京大学医学教育国際協力研究センター）

佐藤 寿一（名古屋大学医学部附属病院総合診療科）

S-13-1 卒前漢方医学教育のミニマム・スタンダードについての勘案

佐藤 寿一（名古屋大学医学部附属病院総合診療科）

S-13-2 漢方医学教育における教材の開発

喜多 敏明（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

S-13-3 学生のモチベーションを高める漢方医学教育実習

新井 信（東海大学医学部東洋医学講座）

S-13-4 研修医教育に漢方医学をどのように取り入れるか

今津 嘉宏（慶応義塾大学医学部漢方医学センター）

S-13-5 漢方医学教育におけるファカルティ・ディベロップメント

宇宿功市郎（熊本大学医学部附属病院医療情報経営企画部）

伝統医学臨床セミナー

6月4日(金) 16:10~18:10 第2会場

「抑肝散の応用」

座長：山田 和男（東京女子医科大学東医療センター）

青山 重雄（あおやまクリニック）

1 抑肝散についての解説：抑肝散をより深く知るために

赤尾 清剛（細野名古屋診療所）

2 小児の精神発達障害、心身症における抑肝散と抑肝散加陳皮半夏の使用経験

川嶋浩一郎（つちうら東口クリニック）

3 産婦人科領域における応用：抑肝散の治療経験

齋藤 絵美（北里大学東洋医学総合研究所）

4 認知症に対する応用：認知症に対する漢方治療

真鈴川 聡（ますずがわ神経内科クリニック）

5 精神・神経科領域における応用：抑肝散をいかに使うか

山田 和男（東京女子医科大学東医療センター精神科）

■ 特別演題プログラム

医師のための鍼灸セミナー

6月6日（日） 9:00～12:00 第5会場

「診断と治療」

1 鍼灸の日本の動向

講師：石野 尚吾（昭和大学医学部第一生理学）

座長：赤尾 清剛（細野名古屋診療所）

2 鍼灸における診断と治療とは

講師：赤尾 清剛（細野名古屋診療所）

座長：関 隆志（東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学講座）

3 神経筋疾患に対する診断と治療

重症筋無力症の中医学的な鍼灸治療法の可能性

講師：関 隆志（東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学講座）

座長：山岡傅一郎（愛媛県立中央病院東洋医学研究所）

4 外来でできる鍼灸適応病態の診断と治療

講師：山岡傅一郎（愛媛県立中央病院東洋医学研究所）

座長：柳澤 紘（北里大学東洋医学総合研究所）

5 北里方式の診断と治療

講師：柳澤 紘（北里大学東洋医学総合研究所）

座長：向野 義人（福岡大学病院東洋医学診療部）

6 M-Testによる診断と治療

講師：向野 義人（福岡大学病院東洋医学診療部）

座長：赤尾 清剛（細野名古屋診療所）

鍼灸モーニングセミナー 1

6月5日（土） 8:00～8:50 第11会場

「実技：経穴の取り方」

講師：山岡傅一郎（愛媛県立中央病院東洋医学研究所）

鍼灸モーニングセミナー 2

6月6日（日） 8:00～8:50 第11会場

「実技：経穴の取り方」

講師：赤尾 清剛（細野名古屋診療所）